

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

突然のお便りを差し上げる無礼をお許し下さい。

すでにご承知のこととは存じますが、私共の芝山鉄道は成田空港南部地域の振興と同地域の皆様の生活環境の向上のため、地域の要望を受け国が約束をしたものでございまして、昭和五十六年に芝山町も参画した第三セクターの株式会社として発足いたしました。が、昨今まで諸般の事情から事業の進展は見られませんでした。

しかしながら、平成三年十一月から平成六年十月に至るまでの間、延べ二十七回にわたり開催された《成田空港問題シンポジウム》及び《円卓会議》の話し合いにより、対立から対話へ、そして空港と地域の共生へと、地域の皆様の考え方は時の流れと共に大きく変化して参りました。

その証左として、地元の各種団体を網羅した「芝山鉄道早期実現住民会議」が、また駅予定地区住民による「菱田の明日を考える会」がそれぞれ自発的に結成され芝山鉄道の早期実現に向け、さまざまな運動を展開されております。

そういう中、一昨年八月には鉄道ルートに係わる成田市木の根の住民三世帯（元熱田派）が移転に合意されました。このことにより、情勢は更に大きく変貌いたしました。当社といたしましても、このような地元の情勢に呼応し昨年一月、待望の工事に着手し現在順調に進捗しているところでございます。

しかし、この機に至り唯一の隘路として残されているのは鉄道ルート上にある木の根の通称一坪共有地でございます。

従いまして、目下、地域の皆様の献身的なご協力を頂きながら、この一坪共有地の解決のため全社を挙げて鋭意取り組んでいるところでございます。

幸いにして、芝山町内の大部分の地権者及び数名の他地区の皆様のご同意は頂戴いたしました。が、率直に申し上げ全面解決までには、まだまだ程遠いものがございます。

つきましては、あなた様も登記簿上この一坪共有地の地権者になられております。当時は私共には計り知れない、いろいろな事情があつてのことと拝察申し上げますが、現在の成田空港を取り巻く状況は、前にも申し上げた通り、すっかり様変わりをしております。

かつては空港に反対された方も、賛成の方も、その垣根を取り払い右も左もなく一体となって芝山鉄道の早期実現を悲願とされております。

この住民の皆様方の悲願を達成するためには、どうしてもあなた様のご理解が必要でございます。事情ご賢察の上、どうかご協力を頂けますよう衷心より懇願申し上げます次第でございます。

なお、芝山町長・芝山町議会議長・芝山鉄道早期実現住民会議会長三者連名によるお願いもお手元に届いているかと存じます。何卒、地域のためと思し召され是非共ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに臨みまして、誠に勝手ながら返信用はがきを同封いたしました。

時節柄ご多用中恐縮ではございますが、ご意見や電話番号等、ご返書を頂けますよう伏してお願い申し上げます。

敬 具

平成十一年二月十日

● ● ● 様

千葉県山武郡芝山町香山新田字橋松四七一一

芝山鉄道株式会社

代表取締役 藤 嶋 祐 幸

TEL 0479 (●●) ●●●●

0476 (●●) ●●●●

FAX 0476 (●●) ●●●●

※参考までに、当社のパンフレット・新聞のコピー等を同封いたしました。是非ご高覧下さいますようお願いいたします。